

進路ニュース

平成30年8月31日

鳥取県立白兔養護学校

進路担当

平成30年度 第2号

夏休みが終わり、学校に児童生徒たちの元気な声が戻ってきました。今回の進路ニュースは、夏休み前に開催された第35回鳥取県障がい者技能競技大会（アビリンピック鳥取大会）、東部地区特別支援学校就労促進セミナーについてお伝えします。

第35回鳥取県障がい者技能競技大会 （アビリンピック鳥取大会）

第35回鳥取県障がい者技能競技大会が6月28日（木）に鳥取県福祉人材研修センターで行われました。この大会は障がい者の社会参加と雇用の促進に係る啓発を目的にし、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構鳥取支部等の主催で開かれたものです。

本校の高等部から1年生4名、2年生3名、3年生3名、計10名の生徒が参加しました。この10名は大会前の約2週間、1年生は「職業」の時間に、2・3年生は放課後に集中的に練習をしてきました。本番当日は、大会に出場しないシーコース・リバーコースの生徒も会場に行き、選手が各競技に取り組む姿を見学しました。

フラワーアレンジメントで2年生の生徒が銅メダル、喫茶サービスで3年生の生徒が努力賞を獲得しました。残念ながら入賞できなかった人もそれぞれに一生懸命取り組んでいました。終了後に早速、来年の目標を語っていた生徒もいました。



＜オフィスアシスタント＞
文書の三つ折り、封入作業、
宛名シール貼り、封筒の仕分け



＜パソコンデータ入力＞
伝票入力、請求書作成



＜喫茶サービス＞
接客・テーブルサービス



＜フラワーアレンジメント＞
卓上飾り花、自立型花束



＜銅賞をいただいた生徒の作品＞

平成30年度東部地区特別支援学校就労促進セミナー

7月12日(木)に鳥取県立福祉人材センターを会場として平成30年度東部地区特別支援学校就労促進セミナーを開催しました。このセミナーは特別支援学校の生徒の様子を事業所の方に知っていただき、障がい者の理解、就労促進につなげることを目的としています。東部の特別支援学校5校の共催ですが、今年度は本校が事務局を務め、高等部の多くの生徒が参加しました。

生徒による「意見発表」では3年生の中村広太さんが「チャレンジすることの大切さ」と題し、産業現場等における実習、部活動、生徒会活動などを通して成長した自分を振り返りながら、今後の課題や目標について発表しました。

「学習公開」では窯業班、木工班、総合サービス班、織物班の2・3年生の生徒の作業学習の様子を公開し、事業所の方から「高度な道具を使って正確に作業している。」「作業態度が素晴らしい。」などの感想をいただきました。

「ステージ発表」ではハンドベルの演奏を披露し、本校で歌い続けられている「あなたと一緒に歌いたい」の曲を会場いっぱいに響かせました。

この他、農業班の2・3年生が中心となって作業製品の販売をしたり、3年生の西村蘭樹さん、川戸紘斗さんがセミナーの司会を行ったりなど自分たちの役割をしっかりと果たしました。



<意見発表>



<ステージ発表>



<司会>



<窯業班：茶碗・絵馬・箸置き作り>



<木工班：いす作り>



<作業製品販売>



<織物班：織物を使った製品作り>



<総合サービス班：喫茶サービス>